

あびら移住のサポートいろいろ。

他にも妊娠時のサポートなども充実

子育て世代を経済的に応援 /

◇結婚お祝い

5万円相当の品

◇出生お祝い

出生児1人につき **5万円相当の品**

◇保育料の負担を軽減

町内の認定こども園へ同時入所している場合

2人目のお子さんは **半額**

3人目のお子さんは **無料**

◇医療費の負担を軽減

0歳から18歳までの医療費が **無料**

※記載の品は町内加盟店舗でご利用可能なあびらポイント等でお渡しいたします。

おためし暮らし住宅

知らないまちへの引越しは勇気があるもの。こども園の体験入園などを兼ねて何日か暮らしてみませんか？詳しくは移住相談窓口まで



空き物件・宅地などをお探しの方はこちらから



他にも助成金・補助金いろいろ。お気軽にご相談ください。

当ページ記載のものだけでも最大50万円相当

住宅建設で助かる助成 /

◇住宅建設奨励助成金

- ・安平町で住宅を建設された世帯
町で販売する分譲地への建設 **20万円相当の品**
- ・町で販売する分譲地以外への建設 **10万円相当の品**

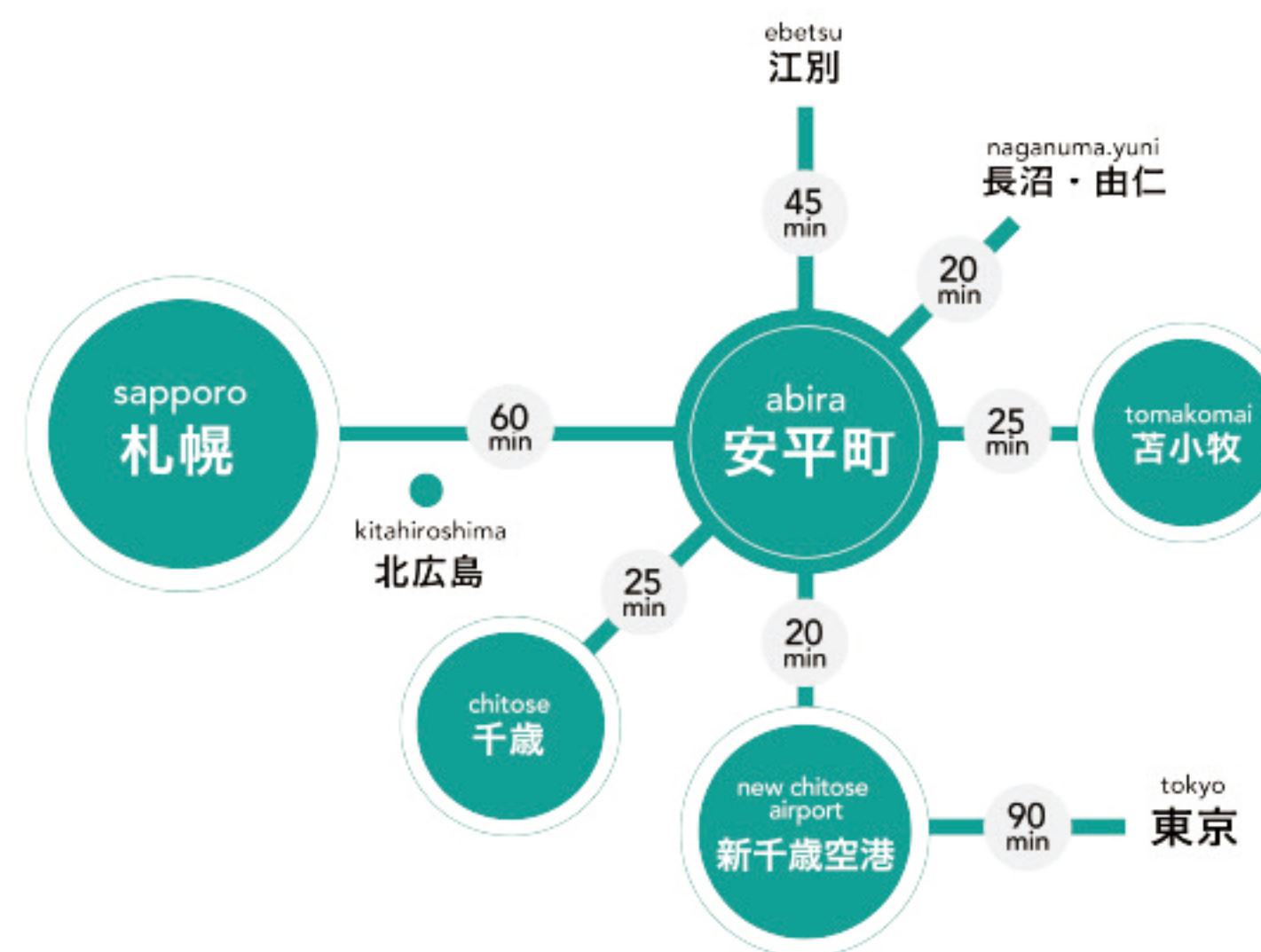
◇転入奨励助成金

- ・上記の住宅建設奨励助成金の対象世帯で、町外から町内へ転入された世帯
町で販売する分譲地への建設 **20万円相当の品**
- ・町で販売する分譲地以外への建設 **10万円相当の品**

◇子育て助成金

- ・上記の転入奨励助成金の対象世帯で、15歳以下(中学生まで)のお子さんがある世帯 **10万円相当の品**

あびらは札幌から約60分
千歳・苫小牧からは25分。
新千歳空港まで20分の近さで
アクセスが快適。※車での移動時間



移住相談窓口

安平町政策推進課
政策推進グループ

お電話での問い合わせ

0145-22-2751

8:30~17:15 (平日)

WEBでの問い合わせ

QRコードからお問い合わせください。
安平町移住プロモーションページに移動します。移住相談窓口からお問い合わせください。



まずは気軽に遊びに。まずここでまち全体の情報収集を。

道の駅 あびらD51ステーション

全国的にも珍しい鉄道をテーマとする道の駅「あびらD51ステーション」。隣にある「ポッポらんど」では、春から秋まで月2回ミニSLの乗車体験を行なっています。また子どもに大人気のふわふわドームも併設されており、思いきり体を動かして遊ぶことも◎。ベーカリーや特産品が揃うショップや、新鮮な農産物が揃う直売所「ベジステ」も見逃せません。

館内に併設する鉄道資料館に展示されているD51は圧巻



全国道の駅ランキングにも連続で上位ランクインしています

安平町の日常
投稿中! Instagram



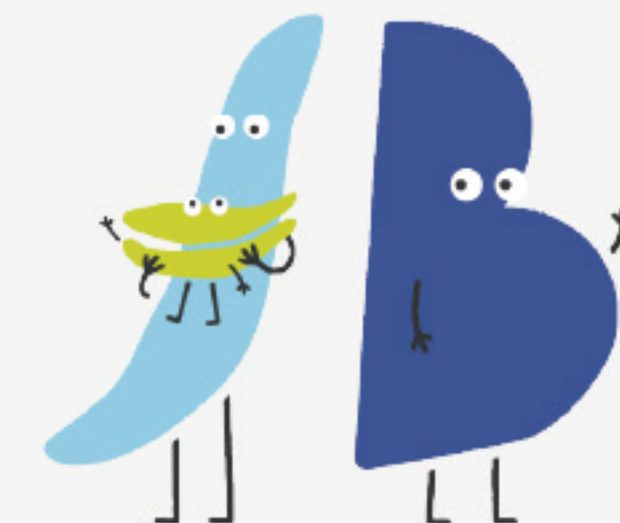
まちの総合案内
Facebook



移住プロモーション
特設Webページ



どんなことでも
お気軽にお問い合わせ
合わせください



子育て世代に選ばれるまち、安平町で暮らしませんか。

北海道安平町は教育のまち



あびらの暮らしと教育、まるわかり。

札幌都心から車で60分、新千歳空港から20分のところに位置する安平町。7300人が暮らすこの町には“ちょうどよさ”が詰まっています。そしてちょうどいいだけではなく、飛び抜けているものもここに。安平町が目指すのは、「日本一の公教育のまち」。質の高さと先進的な取り組みで日本中から注目を集める最先端幼児教育が行われる、幼保連携型認定こども園。令和5年に開校した小中一貫の義務教育学校「早来学園」。そして、様々な「学び」を「挑戦」に繋げる安平町独自の教育手法“あびら教育プラン”。安平町は、不確実なこの時代を生き抜くために最も必要な「自分に期待するチカラ」を育みます。

自分に期待 するチカラを ぐんぐんと。

認定こども園 保育園・幼稚園

0歳

今の子どもたちに、今の大人が正解を教えるのは無責任。不確実な現代では、はっきりとした正解を導きだすことはできないからです。だからこそ、安平町は物事に関心の目を向け、学び続けることで「自分に期待するチカラ=自分ならやれる!と思う心」を育みます。

好きが増える

遊びが学びに 遊育(ゆういく)

地域コミュニティ コミュニティスペース・スポーツクラブ・赤ちゃんカフェ 他

6歳

あたらしい
世界に出会う

教えない放課後教室
あびらぼ

小中一貫義務教育学校

12歳



挑戦する

挑戦のフィールド

ワクワク研究所
ABIRATalks



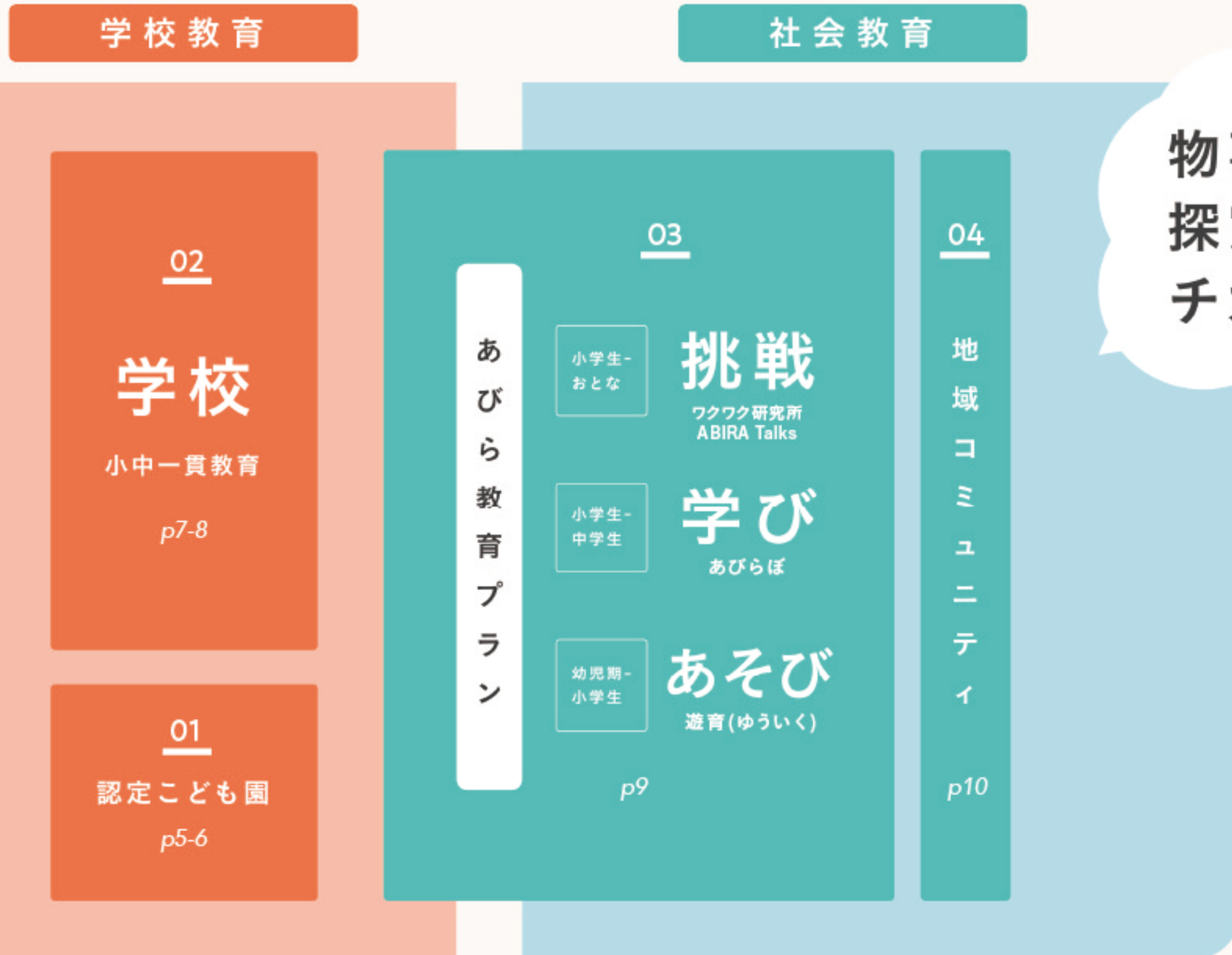
15歳

自分の未来への期待や希望を胸に、高校・大学・社会へ



学校教育 × 社会教育 で挑戦できる自分に

自らで
学ぶ
チカラ



物事を
探究する
チカラ

「自分が“世界”と出会う場所」をコンセプトに開校した小中一貫義務教育学校。日本中から注目を集める最先端幼児教育が行われる、幼保連携型認定こども園。様々な「学び」を「挑戦」に繋げる安平町独自の教育事業“あびら教育プラン”。そして、親が子育てしやすい環境を叶えるとともに、子どもたちが多様な大人に出会い選択肢を増やすきっかけを作る地域コミュニティ。安平町はこの4つを軸に子どもたちの「自分に期待するチカラ」を育みます。

ほかにも、安平町にはコンテンツが盛りだくさん。



子どもが世界に羽ばたく機会を

学校とは、勉強だけでなく様々なことを子どもに教えていく場だと思っています。安平町は従来よりコミュニティ・スクールを導入し、社会教育を重視する素地があります。

令和5年に開校した小中一貫の義務教育学校「早来学園」は「自分が“世界”と出会う場所」をコンセプトに掲げ、地域コミュニティと密接な関わりを持っています。

より多くの人と関わる中で、新しい世界に出会い、彼らが羽ばたく機会を作ってあげたい。できれば町に戻ってきて欲しいという思いもありますが、もし戻ってこれなくとも、気持ちだけでも故郷である安平町と繋がっていただければと思います。

安平町 町長 及川秀一郎



安平町の「こども園」には、幼稚園・保育所・子育て支援・児童館の4つの機能が集約されています。この場所では0歳から15歳まで、すべての子どもたちが教育・保育を受けることができます。ここでは自然環境が学びのフィールド。手作りの園庭には、子どもたちの好奇心を刺激する仕掛けが数多く施され、子どもたちは雄大な自然をフィールドに本物に触れ、興味関心を広げます。自ら考え、未来を切り拓く自分に。ぜひ、それぞれの園の公式ページをのぞいてみてください。

進化し続ける
手づくりの園庭



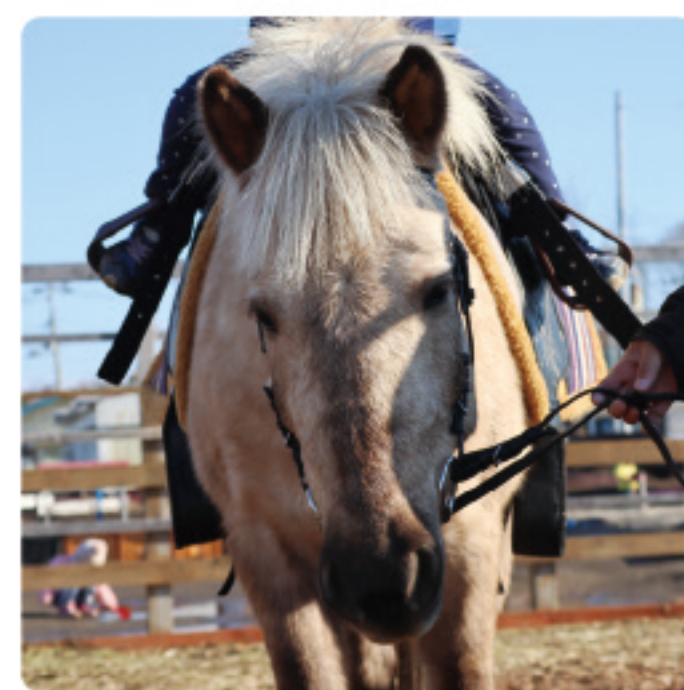
本物に触れる
自然の中の教育環境



先生が保育に集中できる環境を
テクノロジーによる効率化



どさんこのぼんちゃん。
“本物”に触れることを
大切にしています。



森での焚き火は子ども達も
いっしょに。
薪割りも自分たちで。

あたらしいことができた！
これが好きになった！



どんだん姿を
変える森には
ワクワクが
いっぱい！

学校法人 リズム学園

はやきた子ども園

- 新しい学校への継続により叶う
0歳～15歳までの一貫教育
- 自分で生きる力を養う



公式Web

本物に触れられる環境が、自ら選び 決断できる“自分”をつくる

今の子どもたちが大人になる頃は国や文化の違う人と一緒に仕事をするのが当たり前の時代になるでしょう。またAIやロボットが普及し、人が行うのは創造性や表現力、協働や協力を中心とした仕事に集約されると思います。そこで必要となるのは自分で選ぶこと、決めること、仲間と協力すること。幼児が持つ真っ直ぐな感性を豊かなまま大切に育てていくことを大切にしています。本物に触れられる、子どもが子どもらしく自らを生きる場所、自分を豊かにつくる場所がここにはあります。

はやきた子ども園園長 福田剛



社会福祉法人 追分福祉会

おいわけ子ども園

- コミュニティスペースなどを軸とした、地域コミュニティとの連携
- 子どもたちの「やりたい」を大切に



公式Web

子どもも大人も「楽しい、やりたい」 という気持ちを大切に

子ども園の園庭には、「子どもたちのやりたい」を引き出す仕掛けがたくさんあります。築山やハイジブランコなどの遊具、畑の野菜や樹木になる果物など、子ども達の五感を刺激する遊び環境が整っています。興味関心を広げ、より活動に対して意欲的に取り組む仕掛けづくりを行うことで、社会で生き抜く力の基礎を育てています。また、この町では地域の方も一体となり、子どもたちの成長を応援しています。安平町は、ゆったりりのびのび、安心して子育てができ、子どもも大人も成長できる町です。

おいわけ子ども園園長 山城義真



地域と学校を分けない

ICTを活用した新しい学び

早来学園

小中一貫義務教育学校

令和5年度には、新しい義務教育学校が開校しました。この学校では「自分が“世界”と出会う場所」をコンセプトに、子どもたちの選択肢と可能性を広げる仕組みづくりがされています。

校舎の一部、図書室や木工室などは町民も利用でき、地域に開かれた場となっています。「地域と学校を分けない」、「ICTを活用した新しい学び」などを取り入れた公立学校の新しい姿です。



全国各地で先進的な学校づくりに関わっている教育環境研究所が教育環境計画を担当し、北海道を代表するアトリエ系建築設計事務所アトリエブंकが設計を、さらに、ウルトラテクノロジスト集団チームラボがICT環境設計を担い、住民参画により出された意見を形にまとめてきました。

IEE
Institute of Educational Environment
教育環境研究所



BNK
Atelier BNK Co., Ltd



自分が“世界”と出会う場所



03

あびら教育プラン

子どもたちの興味・関心を広げ、挑戦できる子へ

まち独自の社会教育事業「あびら教育プラン」では、子ども達の“一歩踏み出す瞬間”に出会うため、様々な教育プログラムを提供。子ども達には、活動を通して自分の軸を大切にしながらも、社会の変化に合わせて常に自分をアップデートし挑戦していくスタンスを身につけてほしいと願っています。

あそび 学び 挑戦
あびら教育プラン
ABIRA EDUCATION PLAN

教育プランの詳細、各事業のWEBサイトはこちらから




04

地域コミュニティ

人との出会いは見える世界を広くする

都会に比べて互いの距離感が近く、助けてくれる人が周りにはたくさん。“地域で”子どもを育てるコミュニティが広がっています。安平町は昔から移住者が多い町でもあるため、移住者をあたたかく受け入れてくれる空気感があるのも嬉しいポイント。それぞれが安平の面白さに魅了され、町の未来を作りたいと集まり、安平の暮らしを楽しんでいます。



コミュニティスペース ENTRANCE

追分駅すぐのコミュニティスペース ENTRANCE は学生からお年寄りまで世代関係なく町内外から人が集まる町の玄関。地方は選択肢が狭まると思われがちですが、子どもが多様な大人に触れる機会もたくさん。スタッフは20~30代の移住者。安平の暮らしを楽しむ先輩移住者の声が聞けるかも。平日 9:00~18:00 の間 OPEN しています。ぜひ気軽に訪れてみて。



詳しくはWEBサイトをチェック!



アビースポーツクラブ

スポーツの力により子どもたちの世界や可能性が広がることを掲げ活動する総合型地域スポーツクラブ「アビースポーツクラブ」には17のクラブが所属。定期的に世代を超えてスポーツを楽しむイベントを開催しています。地域のスポーツ・文化活動をより魅力あるものにするべく様々な活動を展開中です。



詳しくはWEBサイトをチェック!



赤ちゃんカフェ

地域の子育て世代が集まり、子育ての楽しさや悩みをシェアしあう機会が沢山あります。町内で開催されるイベントでは、地域の人に子どもを見てもらいながら、保護者同士で談話を楽しむ風景が広がることも。子どもが小さいうちから繋がりを作ることで、みんなで子育てをするまちを実現します。友達作りや、地域の方と知り合うきっかけにぜひご活用ください。

お仕事は、移住前と移住後変わった？

ぼくは変わらないかな。苫小牧の職場に車で20分くらいだから、前と通勤時間は変わらないね。千歳や札幌から通っているパパ友もいるね。

私はリモートで仕事をしているよ。安平町には快適な作業スペースがあって、助かってる。

地元産の新鮮なお野菜が、いつも手に届くところに。ついついお料理にも力が入っちゃう。

小さな町は人との距離感が気になるところ。実際はどう？

わたしも結構ドキドキしながら移住したけど、あびらは昔から移住者が多い町みたいで、移住者を受け入れてくれる雰囲気がある。

お隣さんや近所の人に助けてもらうことが多く、互いに頼りあえる関係。適度な距離感もあって心地いいよ。

生活は自然豊かで穏やかな環境、少し車を走らすと都会の空気を味わってバランスがいい。思っていたよりもアクセスや買い物での不自由は少ないね。

休みの日は何をしてる？

夏はご近所さんや友達と庭でBBQをしたり、近くのキャンプ場にキャンプに行くことが多いかな。近くにキャンプ場が4つもあるから飽きないで楽しめるの。

寒い冬は、子どもと雪遊びをすることも。冬も町内ではイベントが沢山開催されるから、結局町内で過ごすことが多いかな。

降雪量とか、気候はどうか？

ぼくはもともと札幌市民だったけど、雪が少なく雪かきの負担が減ったよ。札幌の2/3くらいの量みたいだね。

寒さは結構すごいよね。-20℃くらいになる日もある。でもその分ダイヤモンドダストが綺麗で感動したよ。

昼間や仕事終わりはヨガやスポーツクラブのピラティスに行ったりもしてる。ママ友ができたの。

広々とした公園や森がたくさんで、子どもが目一杯走り回っても心配がいらぬ。親子共々のびのび過ごせて心地いいです。

パパママあびら暮らし談義。

移住者のパパさん・ママさんが語るリアルって？

土地価格相場ってどうだろう？

近隣都市よりも土地代が安いことは確か。音が静かだし庭も広いのが最高だね。少し離れたお隣さんは空き家を助成金を使ってリノベーションしていて、それもよかったなあと感じてね。助成金もいろいろあるのが嬉しいよね。

安平町は一般的な札幌の坪単価と比較して、とてもリーズナブル。アクセスが良好な場所に平家を建てたことから、安平の土地の価格は魅力的だったよ。

家の前には北海道らしい景色が広がり、四季折々の変化を感じながら生活しています。

お迎えの時間。子どもの「楽しかった」がたまらない。



休日は近くの丘での親子で楽しめるイベントに参加。

はやきた子ども園に通うお子さんのいる石川さんファミリーの暮らしをこっそり覗き見。
移住して実現した家族3人、理想の暮らし。



移住をしてでも通わせたい子ども園が安平に。やっぱり自然に勝るものはない。

安平町の子ども達は自然のエネルギーを感じながら、五感をフルに使って様々なことを吸収します。園庭で馬や鶏と触れ合ったり、昆虫や植物について知っていることを大人に教えてくれたりする姿が印象的で、自分がここで幼少期を過ごしたかったと本気で思います。本物の自然に触れ、動植物との関わりを通して命の大切さを伝えていると感じています。

安平町の子ども園に通ってから、子どものやりたいこと、できることが目に見えて増えました。たくさんのお会いの中で子どもの世界が広がっていることを感じます。安平町民の生活圏は札幌、千歳、苫小牧と幅広く、大自然と都市の両方を満喫できます。ぜひ一度、安平町の日常を覗いてみてください。

‘生きる力’を身につける教育が、ここにある。理想の人生をデザインするために必要な‘選択する力’。

息子には「自分の頭で考え、自分で決めて行動したことに対して、自分で責任が取れる力」を身につけてほしいと、妻とよく話しています。

今の時代、次から次と新しいものが生まれていて、社会の常識やルールも目まぐるしく変化しています。「こうしたら幸せになる」という解を誰かが持っているわけではないので、自ら答えを出していく力が求められていると感じます。

続きは公式WEBページで公開中。

